

プログラミング
楽器に使えるよ

仙台・児童向けイベント

県小学生プログラミング大会(河北新報社など主催)のプレイベントが20日、仙台市太白区の東北工大八木山キャンパスであった。小学4〜6年の児童と保護者



センサーに手をかざし、音を出す参加者

ら計約20人が三つの講座に分かれてプログラミングを体験した。

オリジナル楽器を作る講座はプログラミング教材を使い、センサーと手の距離に応じて音の高さが変わる仕組みを学んだ。七北田小学5年小林美陽さん(10)は「音が出た時は達成感があった」と笑顔だった。

東北工大技術支援センターの佐藤健一事務長は「講座で得たことが、大会に出す作品のヒントになればいい」と話した。

発想力や表現力を競う大会は10月12日、八木山キャンパスで開催される。9月16日まで作品を募集しており、最優秀受賞者は来年3月の全国大会に進む。